

事業番号	02 10 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	移住・交流推進事業費	部局	企画振興部	課・室	信州暮らし推進課		
		実施期間	H15 ~	E-mail	iju@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	③人口の社会増を実現						
総合的に展開する重点政策	3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大						




1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 移住希望者一人ひとりに寄り添うため、三大都市圏及び県庁に移住専門の相談員を配置するとともに、「田舎暮らし『楽園信州』推進協議会」を中心に、市町村と一体的な移住施策を推進することで「移住したい県ランキング」で1位を獲得((株)宝島社「田舎暮らしの本」)し、移住者数は6年間で約1.7倍(H27年度:1,758人⇒R3年度:2,960人)となっている。 また、首都圏への通勤の利便性向上や、地域活性化策の多様化などを背景に、二地域居住をはじめとする「つながり人口」として地域に関わるニーズが高まっている。
	【目指す姿】 ・「信州暮らし推進の基本方針(2019.3策定)」の着実な推進 ・基本方針のコンセプト:『信州らしい働き方、暮らし方の提案をし、新しいライフスタイルを創る』、『「移住したい県」NO.1から「暮らしてよかった県」NO.1へ』
	【実施内容】 ・「田舎暮らし『楽園信州』推進協議会」を通じた移住セミナー、相談会等の実施 ・地域課題解決に向け、つながり人口と地域が協働でプロジェクトを研究・実践するプログラムの実施 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	移住者数	人	2,323	2,426	↑	2,960	↑	2,850	達成
2	移住相談件数	件	8,171	6,346	↓	7,530	↑	9,000	未達成
3	週末信州人等登録者数(累計)	人	251	302	↑	310	↑	350	未達成
4									
5									

事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
	前年度繰越額	0	0	0
	当初予算額	56,270	56,487	61,863
	補正予算額	0	49,493	0
	合計(A)	56,270	105,980	61,863
	うち一般財源	43,226	43,703	51,683
決算額(B)	54,263	103,179	58,068	
職員数(人)	6.0	6.0	6.0	

成果指標及び目標値の設定理由	1.県が実施する移住・二地域居住等関連推進施策の効果を図るため(No.1~3共通) 2.都市部から地方回帰の潮流や本県への移住関心度を相談件数から測るため 3.二地域居住に対する要望を登録数から測るため
達成状況の分析	1.コロナ禍により生じている都市部からの地方回帰の流れが高まっていることを受け、移住者数が増加傾向にある 2.コロナ禍の影響を受け、R2に減少した相談件数は回復の兆しを見せたが、依然としてコロナ禍の影響があり目標値は未達成となった 3.週末信州人等登録者数は増加傾向にあるが、コロナ禍の影響により登録者数の増加は鈍化し、目標は未達成となった

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移住相談相談窓口の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・三大都市圏及び県庁でのきめ細かな相談に応じるため「信州暮らし案内人」を配置 ・相談件数7,530件 	オンラインを活用した移住相談会の様子▶	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移住相談会・セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的で魅力的なテーマを設定し、オンラインも活用 ・21回開催 延べ参加者数387組 	クリエイティブ人材誘致イベントの様子▶	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仕事と暮らしをセットに発信 <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏の副業人材によるクリエイティブ人材誘致の企画を実施 ・イベント開催数31件 イベント参加者数282名 	信州つなぐラボの様子▶	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ つながり人口の創出・拡大を図るための地域プログラムを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏住民と県内地域をつなぐためのプロジェクトを実施 ・実施箇所:中野市、辰野町 ・プログラム参加者数22名、プログラム構築数4件 		

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化、活力創出に大きく寄与する層である「若者・子育て世代」へのさらなるアプローチ ・つながり人口(関係人口)のさらなる創出・拡大、および継続した関係性の構築、仕組みづくり ・新たな働き方・暮らし方への関心の向上や、コロナ禍を契機とした都市部から地方への回帰の潮流を捉えた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と暮らしを総合的に発信していくとともに、クリエイティブ人材等の地域活性化に寄与する人材を積極的に誘致する取組を推進 ・県内自治体における空き家DIYイベント等を通じて、つながり人口と地域が共に創るプロセスの中でより強い関係性を構築する場や仕組みを展開 ・リアルとオンラインを併用した相談会・セミナーの開催や新たな働き方・暮らし方をテーマにした取組の展開

事業名	移住・交流推進事業費	部局	企画振興部	課・室	信州暮らし推進課
-----	------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	移住・交流推進事業費	54,263 千円	103,159 千円	58,068 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	NPO法人ふるさと回帰支援センター(東京・大阪)との連携	委託	東京:相談員2名の配置、資料ブース、相談専用スペースの設置 大阪:資料ブースの設置、出張相談の実施 【相談件数1,861件】
2	信州暮らし案内人の配置	直接	三大都市圏(東京・大阪・名古屋)および県庁内に移住相談等に係る総合窓口として、信州暮らし案内人を配置 【相談件数5,490件】
3	UIJターン促進事業	委託	長野県への移住に併せて、県内企業への転職をサポートするため、企業向け研修会や転職セミナーを開催 【社会人向け転職説明会2回、転職セミナー6回】
4	つながり人口創出・拡大事業	委託	中野市と辰野町で、地域課題等を関わりしるに、都市部住民と地域とが交流し、共に取組を進めるするプログラムの実施を外部委託 【プログラム参加者数22名、プロジェクト構築数4件】
5	信州「働く×暮らす」プロモーション強化事業	委託	都市圏の副業人材が県内へのクリエイティブ人材誘致のための取組を企画・実施する事業を外部委託 【イベント開催数31件、イベント参加者数282名】 移住に関する包括サイトにおいて二地域居住の情報などを発信 【アクセス数(R3.4.1~R4.3.31)】 (1)総合情報サイト「SuuHaa」:159,963 (2)二地域居住サイト「ニブンノナガノ」:9,213
6	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業	負担金	移住セミナーの開催、移住応援企業など受入体制の充実や移住ポータルサイト「楽園信州」による情報発信など市町村等と一体的な移住施策を実施するための協議会への負担金 【移住セミナー21回、「楽園信州」アクセス数 165,309】